

評価細目の第三者評価結果(障害者・児福祉サービス)【内容評価基準】

判断水準	
「a評価」	よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b評価」	aに至らない状況、多くの施設・事業所の状態、「a」に向けた取組の余地がある状態
「c評価」	b以上の取組みとなることを期待する状態

※ 最低基準を満たしていることを前提

評価対象 A - 1 利用者の尊重と権利擁護

A - 1 - (1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a · b · c	モニタリングやアセスメントシート作成時に、利用者の意思を聞き取りし、個性を尊重した作業や環境の整備に取り組まれている。また、自己決定が曖昧な利用者には、分かりやすく選択肢のある問いかけを行い、自己決定ができるように支援を行っている。

A - 1 - (2) 権利擁護

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a · b · c	利用者の権利擁護について、規定・マニュアル等が整備されているが、その周知及び理解にバラツキがある。現在、権利擁護・虐待についての理解を深めていく為に、研修の受講を予定している。研修の受講によって職員の理解を深め、権利擁護について具体的な取組が行われることに期待する。

評価対象 A - 2 生活支援

A - 2 - (1) 支援の基本

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a · b · c	利用者の個別支援計画作成時に生活習慣や望む生活等を個人面談により確認し、反映した支援を行っている。また、就労支援の中で担当職員が感じた事はミーティングにて話し合い、自律・自立に配慮した個別支援を行っている。
② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a · b · c	日々の作業日報ノートを確認し一人ひとりの状況を把握し、個人面談にて個々に合わせたコミュニケーションのとり方を必要に応じて行っている。面談などで直接個人の意思を伝える事が困難な利用者には、支援員との連携をとったり、相談窓口の第三者が記載されているカードを渡し、意思を理解できる取り組みを行っている。

③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	Ⓐ ・ b ・ c	利用者が職員に意思を伝える事が出来るよう、必要に応じて個人面談にてその意思を理解し、個別支援計画に反映している。
④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	Ⓐ ・ b ・ c	個別支援計画に沿った就労支援を行う為、利用者のニーズに合った就労先の多様化を、しごと部会や求人情報を活用して継続して行っている。
⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a ・ Ⓑ ・ c	利用者の障害に応じて基本情報やフェイスシートの情報をミーティングにて共有し、適切な支援を策定されているが、専門的な知識を向上する研修や勉強会の機会を設ける事ができていない為、今後職員の専門的な知識を向上できる取り組みに期待する。

A - 2 - (2) 日常な生活支援

	第三者評価結果	コメント
① 個別支援計画にもとづく日常な生活支援を行っている。	a ・ b ・ c	評価項目外

A - 2 - (3) 生活環境

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	Ⓐ ・ b ・ c	事業所内就労環境は担当職員が気温や明るさ等の環境を同じ空間になるよう確認し、適切な環境を確保している。また、可能な限り、段差をスロープに変更したり、バリアフリー化を行い環境への配慮や安心・安全に配慮した環境を確保している。

A - 2 - (4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	Ⓐ ・ b ・ c	定期的にモニタリングを行い、日常な支援で問題がないか確認を行っている。必要があれば計画を変更し、日常な支援として取り組まれている。

A - 2 - (5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	Ⓐ ・ b ・ c	新型コロナウイルス感染予防も踏まえ、自宅での検温や就業前の検温、体調不良時の連絡体制など、利用者や職員に周知し、適切に行われている。
② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a ・ b ・ c	該当者なし

A - 2 - (6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a · b · c	一般就労を希望する利用者へは、ビジネスマナーなどを身につけるよう、個別支援を行っている。

A - 2 - (7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a · b · c	現在は未だ地域支援は行っていない。今後、地域生活を継続するための支援や取り組みを行う必要がある。

A - 2 - (8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a · b · c	ご家族との連携は支援員を通して行っているが、直接的な交流や支援は現在行われていない。今後、広報誌の作成時にご家族にも配布するなど交流を図ったり、家族の心身の状況、支援に関わる負担なども家族からお聞きし、利用者の家庭支援を家族と連携できるようにしていく必要がある。

評価対象 A - 3 発達支援

A - 3 - (1) 発達支援

	第三者評価結果	コメント
① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a · b · c	該当者なし

評価対象 A - 4 就労支援

A - 4 - (1) 就労支援

	第三者評価結果	コメント
① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a · b · c	利用者に応じて希望の確認を行い、より意欲向上に繋がる就労先などの環境の多様化を図り支援を行っている。他者とのコミュニケーション能力や作業への適応能力などを理解し、個人面談にて利用者の「できる」がより多くなるように支援を行っている。
② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a · b · c	利用者の希望や状況に応じて多様な仕事内容から本人が選択し、自己決定できるよう取り組まれている。また、他者とのコミュニケーション能力や作業への適応能力から施設外就労などの提案を行い、状況に応じた適切な支援が行えるよう取り組まれている。

③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a . b . c	支援員はハロワーク、求人誌情、しごと部会など様々な形で、新規就労先の開拓が行われている。また、就労後の利用者へはモニタリングや担当者会議にて意思を理解し、定着支援が的確に行われている。
-----------------------------------	-----------	--